

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

2019年4月10日

No 376

発行者：ELIC編集委員会谷口利男
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8
電話(03)6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

ELIC

1部100円

ルネサス株主総会で追求

1000人減らし、最大2カ月間の工場稼働を停止

株主の皆さんに配布！

3月20日(水)9時からルネサス株主総会の会場に通じる地下鉄有楽町線「豊州駅」広場でルネサス懇、東京電機懇、電機・情報ユニオンのノボリを掲げて取り組みました。(右写真)宣伝行動はルネサス懇「第41号」を6人が参加し166枚(18年8人-150枚、17年8人-109枚)手渡しました。ユニオンの米田委員長が携帯ハンドで訴えると引き返してピラを受け取る状況もありました。



株主総会で経営者責任を追求

株主総会は、10時から12時8分で開催され、約150人の株主が出席されました。

総会では、ユニオン組合員から事前に提出した質問状に対して約30分に渡り回答しましたが、労務管理に関する10項目をさげました。

事前質問状の「IDTの買収は、当社の事業規模からみて過大投資による借金経営のリスクはないのか」に対して「IDT投資はバランスに注意しておりマネージできる範囲で、理想に近いパートナーである」と回答した。一般株主からもIDT買収に関する説明は理解できないばかりか、虚偽記載であり「第三者委員会」を設置して説明する事を求める。必要であればIDTの部品を購入すれば足り、自動運転などに資金を使うべきである」との質問に対して「売上高の過半を占める車載向けと、データセンター向けなど他の事業でバランスを取る考えを示した格好だ」と回答した。

パワハラ面談を阻止させる

社員株主から「14～15年にパワハラ面談を受けた。早退後は業務効率が下がっている。今回も同様にやられようとしており、社員の自由意志で選択できるようにして頂きたい」に対して「貴重なご意見を頂いたと回答した。ユニオンから「一時金の支給が評価によって9倍も格差がある制度は見直しが必要だ」に対してグローバル社員として公平に運営しており、社内では支持されていると回答。熊本錦への労働局指導は現在でも生きており一日も早い解決をすべきではないか」に対して業務改善策を受理されてから特段の指導はない。現地での話し合いは承知していないと回答した。

今月号の紙面

- ①ルネサス株主総会で宣伝と追求
- ②19春闘を振り返って
- ③パイオニアの人減らしリストラ
- ④第5回三者共同の「省庁交渉」
- ⑤OAK「全体会議とお花見会」
- ⑥ラプラス「野球少年」谷口さん
- ⑦電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧6・1電機産業リストラ交流会
からむすの原稿募集。集積回路